

角間温泉 共同浴場

Kakuma Onsen Kyoudou Yokujou
(長野県山ノ内町)



大湯外観

湯田中温泉郷とは、安代（あんだい）温泉、角間温泉、上林（かんばやし）温泉、沓野（くつの）温泉、地獄谷温泉、渋温泉、星川温泉、穂波温泉、湯田中温泉の9つを指すという。今回紹介するのは角間温泉の共同浴場だ。

外湯と呼ばれている共同浴場。本来なら外来入浴も可能であった。しかし、コロナ対策のためかどうかは知らないが、現在では地元民と宿泊施設の宿泊者のみが利用可能となっている。

共同浴場は3つある。順番に紹介していこう。

まずは大湯。角間温泉のメインストリートを遮るように建っている木造の古い建物が大湯だ。中に入るには、宿泊施設で借りてきた通行手形に付属の木製の鍵を使う。入口は男湯と女湯では別々になっている。中に入ると下駄箱と脱いだ物を入れる棚、脱衣スペースがある。下駄箱は9個、棚の個数は6個ある。脱衣スペースと浴室は一体になっている。

浴室には浴槽とその周囲に床があるだけで、その他は何もない。洗面器は数個あったが、椅子はない。常連客と思われる若者は、床に座り、自前のシャンプー、ボディークリームで体を洗っている。石鹸の使用は禁止されていないようだ。湯船の大きさは2畳ほど。湯は無色透明で、湯温はやや熱め。常連客がいるので、水で薄めるのは遠慮した。そうこうしていると、別の常連客が玄関から顔を出して「3人か」と言

って出て行った。3人入浴中の大湯は、その常連客にとっては「定員」だったのであろう。恐らく、他の共同浴場へ行ったと思われる。

ちなみに、大湯の湯は、ナトリウム塩化物・硫酸塩温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）であり、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病、動脈硬化症に効くという。

湯船から見上げると分析表なる立派な木の板がある。今なら紙に印刷して掲示する程度のものを、金をかけて1畳ほどの大きさの木の板にしている。相当古いが、当時は分析するだけで時間と金がかかったのかもしれない。

大湯より50m下ったところにある古い建物が2つ目の共同浴場である滝の湯だ。大湯のとの違いは、下駄箱がない点、脱いだ物を入れる棚が8個ある点、岩風呂風の内壁仕上げになっている点であろうか。

滝の湯よりさらに50m下ったところにある古い建物が3つ目の共同浴場である新田の湯だ。大湯のとの違いは、下駄箱がない点、脱いだ物を入れる棚が12個ある点、湯船が1.5畳程度と最も小さい点、外側に足湯のような場所がある点であろうか。尚、新田の湯に屋号を示す看板がないので、わかりづらいかもしれない。

自然と歴史が育んできた共同浴場。古いがまだまだ健在だ。これらを維持して守ってきた人たちに敬意を表したい。

大湯



滝の湯



新田の湯



新田の湯にある足湯と思われる場所



DATA

名称	角間温泉 共同浴場
所在地	長野県下高井郡山ノ内町佐野
電話	なし
営業時間	特に決まっていない模様
定休日	特に決まっていない模様
入浴料	地元民と角間温泉の宿泊者のみ無料で利用可能
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2022 年某月某日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	志賀高原